

CAR No.36

Beyond

スーパーFJ  
アルビレックス・レーシング・チーム  
PRESS RELEASE  
2011/5/8

ALBIREX-RT

スーパーFJ 鈴鹿シリーズ 第3戦

## 大類選手ポイント獲得！！

5月6日(金) フリー走行

1レース落ちの中古タイヤで4本走行した。  
S字コーナーを重点し、タイムが早い他車に引張ってもらい、向き変えのポイントやラインを見ながら走行した。1本目のタイムは" 54.23"。2本目、3本目はタイムダウンしたが、平均的にタイムを刻めるようになった。4本目のタイムは" 54.16" で今までの自己ベストを出した。

5月7日(土) フリー走行

引き続き中古タイヤを使用し3本走行した。この日は2コーナーとショートカットに注目した。両コーナー共に上り坂と下り坂がありオーバーアンダーが極端に出やすかった。なのでアクセルやブレーキでの荷重調整やステアリングのきり方や角度に集中した。1本目のタイムは" 54.00" で自己ベストを出した。2本目、3本目は廃タイヤ寸前までできていてタイムダウンしてしまったが、タイムアップに繋がる収穫があった。

3月8日(日) 予選

参加台数が31台と多かったのでA組(16台)とB組(15台)に分かれて行われた。自分はB組となった。クリアラップをとるためにピットレーンを最後に出た。ニュータイヤでの車のフィーリングが別物で練習で得たものをあまり引き出す事ができなかった。数周し"53.63"を出し自己ベストを更新したが、その後はタイムが伸びず、B組7番手となった。スターティンググリッドはA組、B組のタイムは規定により合算されず、13番手で奇数列(進行方向左側)となった。

決勝

オープニングラップの1コーナーで1台パスし12番手になった。数周後、前の車(11番手)からクーラントが吹き出し、直に自分のヘルメットのバイザーに付着して前が見えなくなり、路面とタイヤは濡れてグリップダウンした。その後、前の車がピットインして11番手になったがペースを取り戻すことができずにいた。後の車(12番手のミストワークス)に追いつかれ、ホームストレートで並ばれて1コーナーの進入勝負となった。しかしブレーキングとボトムスピードは自分の方が勝っていたため順位を守ることができた。これを3週も繰り返された。レース中盤、クラッシュとリタイヤが多数出てセーフティカーが入った。これより9番手となった。3~4周したところで再スタートした。自分はタイミングを逃していまい前の車と少し離れてしまったが、周回を重ねるごとにペースを取り戻すことができた。その後6・7・8番手争いをしていてグループに追いついてきたが、チェッカーフラッグが振られ9番手となった。  
シーズンポイントを2ポイント獲得した。

中村監督コメント

良い流れに乗ったレースウィークでした。  
10Vの乗り方も徐々に理解できトップ10に入れました。  
これからは、トップ3を目指して努力して欲しいです。

 Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計  
埼玉・川口  
<http://www.tkcncf.com/sds>



CAR No.35

Beyond

スーパーFJ  
アルビレックス・レーシング・チーム  
PRESS RELEASE  
2011/5/8

Albirex-RT

スーパーFJ 鈴鹿シリーズ 第3戦  
気合十分、挑んだ佐藤選手

レースウィークは5月6日金曜日から走行しました。  
5月6日金曜日 3本 5月7日土曜日3本と走行いたしました。

5月6日(金) 前回の走行したときの良い所を生かしきれずタイムが伸びず、タイムの速い人に聞きに行くもそればかりは意識を  
してしまい尚且つ、慎重に走りすぎてタイムアップに繋がらずタイム54.86という結果になった。

5月7日(土) 前期の反省を生かし、ラインや踏んでいくポイントを確認して走行するが、1本目以降またしても走行中考えすぎて自  
分自身ガッツリせめて行くというのが消極的になってしまい納得に行く走りができませんでした。  
タイム 54.69

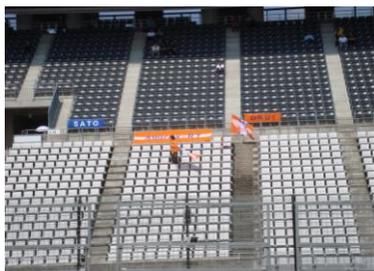
5月8日(日) 予選ヒートは今回台数が多かった為、A、Bグループに分かれてのヒートになりました。前半3周目に54.586を出し、  
その後も前車について行くも水温が上がってしまい、速度が伸びず、このときクーリングをかねて前車と離れてリズム  
を崩してしまい前半のタイムから更新できませんでした。Aグループの中で最下位でした。  
タイム 54.586

決勝は、後ろからのスタートということでドンドン抜いて行こうと思いガンガン行きました。スタートのコーナーまでで1台  
抜き2コーナーの立ち上がりでもう1台抜き次の周のS字2個目でもう1台抜き、次の周のもう1台抜きその次の周の最  
終コーナーでバランスを崩してしまいスピンその際、後者にFウイングを踏まれてしまい前車に追いつけず、そのまま  
SCカーが入ってクーリングの為ピットに入り、再び列に混ざるも水温が下がらず、直線スピードが20kmも落ちてし  
まい、前者に追いつけないままチェッカーとなってしまいました。レース後ピット速度違反による失格となってしまいま  
した。

中村監督コメント

全体的にちぐはぐなレースウィークでした。  
本人の努力と結果がかみ合わず、成績に繋がりませんでした。  
次回は、良い波に乗れる様に指導します。

 Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計  
埼玉・川口  
<http://www.tkcnr.com/sds>

P PLUS

Moty's  
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

